パブコメ集計結果（巡航探査）

1．総数：2件

2．賛否について：

〇賛成：　1件
〇賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの：　1件
〇反対：　0件
計　2件

（賛否の考え方）
・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

（参考）

①賛成
- 優先度　S。ただし、長距離航行のための航法装置についても、開発項目に加えるべきである。海洋エネルギーの開発にとって、基礎となる海底のデータ収集に必要不可欠な技術である。しかも、長時間・長距離を無浮上で航走する技術はキーとなる技術である。この技術は、車で進められている電池技術と共通するもので、ここで得られた新技術が他の分野にも使われる波及効果を持っている。またこれに携わる産業にとっても、技術革新が求められ、技術力向上が期待され、世界における技術の優位性を持つことが可能となる。長距離航行のための航法装置について、未だ確立されておらず、この技術開発についても、大学等の研究機関と共同研究を通して、進められるべきである。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの
- 集中的な資源投資によって強力に推進すべきであるが、事業計画の策定には世界の開発・運用動向を充分に調査し的確に反映する必要がある。英国サザンプトンにあるNational Oceanography Centreでも、航続距離5000kmのAUVを2011年進水を目標に製作中であり(但し、探査能力は極めて限定的になると思われる)、真に世界をリードするためには、彼らと競うのか別の方向性を打ち出すのか、単に航続距離のみで優位性を打ち出す段階にないと考えられるため。

③反対
- なし